

## 親切運動の取組について

学校名 黒部市立たかせ小学校  
児童数 196名

### 1 親切運動の取組の紹介

#### ① 挨拶運動

「たかせあったかプロジェクト委員会」が中心となり、朝の挨拶運動を行っている。学期に1回ずつ「挨拶パワーアップ週間」を実施し、5段階に設定した挨拶の仕方の中から自分がチャレンジする目当てを決めて、より気持ちのよい挨拶ができるように取り組んでいる。また、気持ちのよい挨拶ができる児童を「挨拶名人」として紹介し、委員会の児童が作成した挨拶名人カードをプレゼントしたり、挨拶の木に名前を貼ったりして意識を高めている。進んで挨拶運動に参加する児童もおり、心温まるあいさつの輪が広がってきている。今後も取組を続け、相手の気持ちを思いやって過ごそうとする心を育みたい。



#### ② アルミ缶回収

「クリーン委員会」の呼びかけにより、毎週水曜日に各家庭にあったアルミ缶を持ち寄ってリサイクル活動に取り組んでいる。リサイクルに協力してくれた学年の人数や集まった全体の重さを放送で紹介することで、協力する児童が増え、環境に配慮した行動が広がるよう呼びかけている。



#### ③ 縦割り活動

集団登校や全校6色リレー、大縄跳び、清掃等で1～6年が一緒に活動するなど、伝統的に縦割り活動を継続している。集団登校のときには、上級生が後ろを振り返りながら下級生を見守る姿や、掃除の仕方や用具の使い方をサポートし、それを実践する下級生との温かい姿が学校生活の中で見られる。



#### ④ あったか人権集会

人権週間の期間に、「あったか人権集会」を行っている。集会では、日頃の生活の中で友達との関わりや言葉遣いに関して気になる場面を取り上げ、委員会の児童が考えたシナリオで劇の発表を行っている。劇を見ることを通して、自分の言動を振り返るきっかけとなり、クラスの人権目標を話し合うことで、自分を大切にするとともに相手も大切にしようとする思いを新たにすることができた。



### 2 親切運動に取り組んで

#### ○ 取組の成果

- 相手に顔を向けて挨拶をしたり会釈をしたりして、気持ちのよい挨拶をすることができる児童が増えてきている。
- 縦割り班活動を通して、上級生のリーダー性を育てるとともに、「みんなちがってみんないい」を目指して、互いのよいところを認め合うことにもつながっている。

#### ○ 課題と今後に向けて

- 今後も、相手との関わりを考える場を大切にし、相手を思いやる心を育てる活動を進めていきたい。
- 委員会活動を推進し、全校児童が進んで取り組むことのできる常時活動を工夫していくことも必要である。